

# 土偶 スマイル

◎謎を秘めた縄文アイドル

馬高遺跡では、精神性に關わる「第二の道具」が多数出土しました。なかでも大型土偶の『ミス馬高』からは、「河童形」と称される土偶の特徴がよくうかがえます。

ニコニコ微笑む彼女には、実は多くの謎が。使用法は？身体や頭部の文様の意味は？手や後頭部の孔は何？イペントでは、普段見られない頭頂部なども詳しく紹介！彼女の正体にせまっていけるかも。



## つられて ニッコリ

『「ミス馬高」土偶をつくろう！』

- ◇日時 6月22日(日) 午前10時～正午
- ◇定員 先着20名【小学生(保護者同伴)以上】
- ◇参加料 無料(当日の展示室観覧料も無料)
- ◇持ち物 汚れてもよいタオル、服装
- ※作品は乾燥・焼成後、後日お渡しします
- ◆申し込み期間 6月10日(火)～19日(木)

◎縄文のピアスを

かわいい小箱に

ピアスのようにして身につける縄文の耳飾り。素敵な縄文アクセサリーで小物入れをつくる体験を開催！

県内一の出土数を誇る馬高遺跡の耳飾りはとてもシンプル。その後の縄文時代後・晩期には、美しいデザインを彫り入れた大きな耳飾りが、長野県や群馬県を中心につくられました。縄文人の美意識がうかがえる小物入れ、ぜひつくってみてください。

### ◆◆◆◆ トピック ◆◆◆◆

#### なぜか多い、長岡の土製耳飾り

土製耳飾りは、縄文時代中期から晩期にかけての東日本を中心とした遺跡で発見されています。耳たぶに穴をあけて装着するピアスだとされますが、耳たぶの穴は皮が伸びてどんどん大きくなるので、一生つけ続けるにはサイズの大きなものへの交換が必要だと考えられます。



土製耳飾りは、縄文時代中期から晩期にかけての東日本を中心とした遺跡で発見されています。

縄文中期の耳飾りは、ほとんどが新潟県内で出土し、なかでも馬高遺跡では58点が発見されており県内最多。また県内の耳飾り出土数トップテンは、長岡市の遺跡が過半数を占めています。

◆引用・参考文献

戸沢充則『904 縄文時代研究

事典』東京堂出版／新潟県立

歴史博物館2011図録『新潟の土偶』

縄文

ピアス?

すごく

カワイイ!

『縄文耳飾りの小物入れをつくろう!』

- ◇日時 6月29日(日) 午前10時～正午
- ◇定員 先着20名【小学生(保護者同伴)以上】
- ◇参加料 無料(当日の展示室観覧料も無料)
- ◇持ち物 汚れてもよいタオル、服装
- ※作品は乾燥・焼成後、後日お渡しします
- ◆申し込み期間 6月10日(火)～26日(木)

●企画展『縄文土器入門～縄文土器の特色をさぐる』開催中(～8/24(日)まで)

●「第5回長岡・縄文土器グランプリ」(企画展内の縄文土器人気投票)開催中(6/29(日)まで)

馬高縄文館

ホームページ

※イベントのお申し込みは長岡市馬高縄文館(0258-46-0601)までお電話ください。

